

梅の里

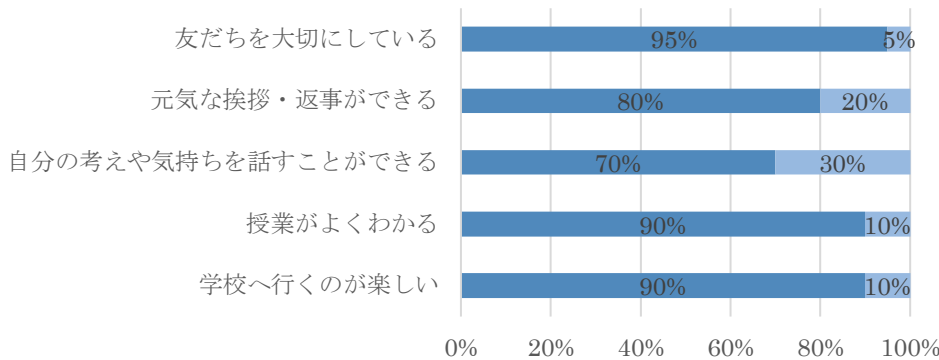


第 11 号
令和 3 年 1 月 18 日
文責：教頭 草間
TEL 85-2007

令和 2 年度学校評価アンケートの結果から

今年度は web 上でのアンケートを実施させていただきました。回収率97%でした。ご協力ありがとうございました。

質問項目（児童・保護者アンケートより）



例えば「挨拶ができる」という質問に対して、よくできる・だいたいよくできると回答した割合が児童が 80%、保護者が 70%のように差が 5 ポイント以上あるということは今回のアンケートでは認められませんでした。（ほぼ同じです）

グラフの左側が「よくできる」+「だいたいよくできる」の割合となっています。

- 児童会の代表委員会が、あいさつについて 1 年間かけて取り組んできました。学校としても「あいさつは全ての基本」と位置づけ、校内だけでなく地域でも挨拶ができる姿を目指して取り組んできました。**高学年を中心に「返事」の習慣が身につけてきています。**返事をする事で、**話をしっかりと聞こうとする**子どもが増えてきたように思います。挨拶については、まだまだ満足できるものではありません。今後も粘り強く指導を続けていきたいと思ひます。
- 授業の中で「自分の意見を持ち」「話す・伝えることができる」ために、授業改善を行ってきました。具体的には「友だちの意見と自分の意見をつなげる」ことや「既習事項とつなげる」、そういった「つなげる」を意識してきました。ICT 機器を活用して意見をまとめたり、伝えたりということを積極的に取り入れる等、今後も**「自分の意見や気持ちを話すことは楽しい」と思える授業作り**を心掛けていきたいと思ひます。

【自由記述のご意見から】

- 車が停まるのが当たり前と思ひている子たちがいる。横断の仕方をもう一度確認したい。
- 交通マナーが身につけていない。信号待ちをしている子が道路ぎりぎりに立っていること、縁石に乗っている子、自転車でヘルメットをかぶらず猛スピードを出している子…。
→**学校から外に出たら地域と家庭の力が重要になります。ぜひみんなで子どもたちを守り、指導しましょう。**
- 今年はコロナの影響で参観日を含め学校に行く機会が極端に減ってしまった。先生方とのコミュニケーション機会が減り、学校の様子がわからず残念。
- 今年のような場合、きずなネットでその都度情報を流していただきありがたかった。また学校アンケートを WEB 上でできるようにしていただきありがたい。お便りなども WEB 上で配布していただければ、子どもが忘れてきたときに見ることができる。
- 運動会は半日になったが、来年度もその方向で良い。これを機会に本当に必要な行事のみ検討してほしい。
- 運動会や修学旅行等ができて本当に良かった。ありがとうございました。
→来年度の予測ができない状況です。**「子どもたちのために」というスタンスは崩さず、コロナ禍だからできること、をその都度検討していきたいと思ひます。**

たくさんのご意見をありがとうございました。全職員で全てのアンケートに目を通し共通理解をしました。このご意見を今後には生かしていきたいと思ひます。

「自分なりの成長を」 ～チョウの冬越しから～

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ、3学期が始まりました。3学期は47日間で、あっという間に過ぎていってしまいます。だからこそ、86,400 秒を大切に使ってほしいと思います。

今日は「一人一人が自分なりに成長して1年のまとめをしよう」ということについて話をしたいと思います。

3年生の皆さんは、1学期からずっとチョウチョを飼って成長の様子を観察してきました。モンシロチョウからはじめて、キアゲハ・ツマグロヒョウモンを、卵から成虫になるまで観察しました。

さて、これらを含めてチョウチョたちは、この寒い今、どうしているのでしょうか。

- ① 卵でいる ② 幼虫でいる ③ 蛹でいる ④ 成虫でいる

正解は……全部です。



今、卵でいるのはシジミチョウというとても小さなチョウなどで、幼虫でいるのは日本のチョウとなっているオオムラサキや、皆さんがよく目にするモンキチョウなどです。蛹でいるのは3年生が飼っていたモンシロチョウやキアゲハなどです。成虫で冬を越すことは驚きですが、タテハチョウという仲間などです。この他に、寒い日本から暖かい遠くまで飛んでいくチョウもいます。皆さんがよく知っているアサギマダラがそうです。

このように、チョウは種類によって様々な方法で寒い冬を耐えているのです。そして、どれもが最も良い方法を選んでいるわけです。さらに、決して成長を止めているわけではなく、2学期の終業式で話したように、米粒1粒、ほんのわずかでも成長を続けているということです。こうすることで、3月終わりから4月の初めにかけて立派にチョウチョとして空を飛び始めます。

皆さんはこれまで9か月間過ごしてきましたが、少し前を進んでいる人もいるでしょうし、後ろから進んでいる人もいます。これまで、自分に合った方法で自分のペースで成長してきました。成長は人それぞれです。まとめの3学期、自分に合った方法で、自分に合った速さで、着実に前に進んでほしいと思います。そうすれば、3月の終わりには誰もがチョウチョのように羽ばたくことができるはずです。一層「自分を好きになり 他人を好きになり 宮田を好きになる」ことができるはずです。

次の学年に向けて、宮小家族として一年のいいまとめをしましょう。

【宮田小学校と「チョウ」……実はたくさん関わりました】



キャベツを栽培して観察しているわけではありません。キャベツに卵を産んだモンシロチョウを観察している3年生です。

なんと！ 教室でキアゲハが孵化しました。神秘的なシーンに子どもたちは出会うことができました。



2年生はアサギマダラの見学に行きました。今年は数が少なかったものの、長い旅をするチョウの不思議さを感じることができました。(学校にフジバカマを植えました。来年は来てくれるかな)



当初の年間計画では2月12日(金)を計画休業としていましたが、授業時数確保のため、登校日とします。1.4.5年生はスキー教室 2.3.6年は通常授業の予定です。